ごあいさつ

NPO法人東京中央ネットでは、既存の建物をパビリオン(会場)に見立て、江戸から続く伝統や文化、歴史を紹介する「EDO ART EXPO」を毎秋に開催してまいりました。本年で８回目をむかえたこの事業は、中央区、千代田区、港区、墨田区の名店、企業、ホテル、神社仏閣や文化・観光施設などが協力して催す一大イベントです。

「EDO ART EXPO」は「江戸の美意識」をメインテーマに、浮世絵を展示する「浮世絵展示会場」、「江戸」に関わる所蔵品を有する美術館、博物館、大学などが「関連展示会場」となり、幅広い連携のもとに開催してまいります。

また、会期中には、さまざまなイベントやワークショップ、各種ラリーなどを約６０の会場で行い、楽しく充実した１９日間をご提供したいと思っております。

ご来訪の皆さまには、江戸のＤＮＡを受け継いだ「EDO ART EXPO」のエリアを回遊して、その奥深い魅力をご堪能いただければと願っています。

本展を開催するにあたり、ご協力を賜りました関係各位の皆さまに、深甚なる感謝とお礼を申し上げます。

2015年 9月 吉日

NPO法人東京中央ネット 理事長
山本 徳治郎

NPO法人東京中央ネット 相談役
細田 安兵衛

EDO ART EXPO 実行委員会 委員長
中村 裕

開催記念
特別対談

美は遺伝する江戸のDNA

江戸の美意識

脈々と受け継がれてきた、先人たちが残した「美」の世界

歴史を積み重ね、集積して現在に至る老舗や神社仏閣がパビリオンとなり参画し、浮世絵など日本の伝統や文化を伝える工夫をしていらっしゃるのは大変に意義深くシンボリックであると思います。（本文より抜粋）

日本観光の現状

山田　我国では2003（平成15）年に小泉内閣総理大臣のもと、「観光立国宣言」がなされました。2008（平成20）年に国土交通省の外局として新設された、観光庁の初代長官をお務めになった本保芳明さんと「第８回EDO ART EXPO」の開催を記念して、国内外の観光の現状、日本の歴史、伝統や文化の魅力などについてお話をさせていただきます。在任中はリーダーシップを発揮し、その実行力に敬服された方々も多くいらっしゃったと伺っておりますが、ご経歴についてお聞かせください。

本保　私は北海道小樽の出身で、大学卒業後は国土交通省（旧運輸省）に入省しました。日本郵政公社の発足時に初代総裁とのご縁で転職した後、2007（平成19）年に再入省し国土交通省大臣官房総合観光政策審議官を経て、観光庁長官の任につきました。当時を振り返ってみると観光庁という新たな組織が軌道に乗るように、レールを引くのが私の仕事であったと感じています。任期中の2008（平成20）年８月には、第34回主要国首脳会議（通称：北海道洞爺湖サミット）を契機に国際観光振興の推進を目指し、観光立国推進戦略会議において提言をまとめました。

静かな佇まいの日本料理「源氏香」からは、庭園の借景を望むことができます。

撮影協力　ロイヤルパークホテル　www.rph.co.jp
ヘアメイク・着付け・衣装　衣裳らくや　www.rakuya.co.jp
撮影　小澤正朗

現在は観光庁参与、首都大学東京特任教授に従事し、シンポジウムなどのコーディネートや講演などにも携わっています。

山田　インバウンド（訪日外国人旅行者）の数字は2013（平成25）年に初めて1,000万人を超え、翌年には1,340万人、本年１月から７月までで既に約1,105万人と順調に伸びてきました。要因として円安やアジア諸国の成長、ビザの緩和、消費税免税制度の拡充、またＳＮＳ（ソーシャルネットワークサービス）などＩＴの進化が挙げられています。

本保　私は円安についてはロングタームで見ると為替が円高の時でもインバウンド数が増加していたので、あまり影響がないと考えます。もちろん円安は短期的には、日本観光を手頃にしているでしょう。今や国際観光客数は世界全体を見ても高度成長し、2030（平成42）年には18億人規模に達すると予想されています。この様な背景の中で日本が経済成長を遂げているアジアの新興国を、マーケットとして取り込めるようになってきたのが外的な要因の一つです。日本は戦後の一時期を除くと観光産業には力を注いで来ませんでしたが、現在の安倍政権下のスピーディな政策転換でビザを緩和したのも大きく状況を変えたと言えるでしょう。

また、航空自由化の協定（オープンスカイ協定）でＬＣＣ（格安航空会社）を含めて路線が充実し、更に羽田空港の国際化や成田空港の増便により、インバウンド数が大きく飛躍できたのです。

都会の喧噪を忘れさせてくれる日本庭園では、四季折々の美しい情景が楽しめます。

これらに政府を挙げて推進してきた観光施策のプロモーション効果が相乗し、現状に導いたと推測しています。

山田　今や私たちの生活にもインバウンドという言葉がすっかり定着して、インバウンド観光は注目の的です。急速なインバウンドの増加により、国内のマーケットシェアにもさまざまな影響が出ているように見受けられますが。

本保　観光産業に携わる方々においても、これほど多くの外国人を迎えるのは初めての経験で、文化や風習の違う外国人が求める観光ニーズに直面しているでしょう。しかし、私はそこに必然的な観光イノベーショ

錦絵誕生２５０年を記念して ―“ *Japan Beauty from Edo-Tokyo* ”

**江戸の庶民に愛されていた浮世絵は、1765（明和２）年に多色刷の技術が発達したことで「錦絵」の誕生へと至りました。
浮世絵には、人々の何気ない仕草から情景の細部に至るまで、「江戸の美意識」が凝縮されています。
絵師の鋭い観察眼、摺師や彫師の伝統が培った技から生まれた創作の数々を、街を巡りながらご鑑賞ください。**

夕立／鈴木春信

盆栽売り／鳥居清長

東都名所遊覧菊月まつり／初代 歌川豊国　神田明神資料館 蔵

東都両国橋渡初寿之図／歌川広重　中央区郷土天文館「タイムドーム明石」蔵

ンが起きて新たに魅力的なサービスが提供され、結果として日本人の国内観光も活性化するのではないかと期待感を持っています。

オリンピックとそのレガシー

山田　2020（平成32）年東京オリンピック・パラリンピックの開催が決まり、国民のマインドが明るくなったと感じられます。大会後のオリンピック・レガシーにも視点が注がれ、その創出が取り上げられていますね。

本保　おっしゃるように国内のムードを変えただけでもオリンピックは、素晴らしい効果を発揮していますよね。但し1964（昭和39）年の東京オリンピックは日本が先進国入りを内外に宣言し且つ証明した大会でしたが、今回は成熟した国家として開催するオリンピックであり、遥かに難しいでしょう。

レガシーについては、2000（平成12）年のシドニーではオリンピック後の科学的な調査を行い、10年タームで見ると経済効果の５～６割は観光であったと解っています。また、前回の2012（平成24）年ロンドンオリンピックもこの点を意識した運営を行い大成功しました。裏返せば観光面での成果を残せるようなオリンピック運営をしないと、レガシーの確保が難しいという事由です。

日本の伝統と文化の発信

山田　オリンピックは「もてなし」を含めて、日本人が日本文化を見直す良い機会になるでしょうね。私たち都心４区の名店、企業、ホテル、神社仏閣や文化･観光施設、教育機関など、既存の60カ所以上の施設が連携して「EDO ART EXPO」開催しています。前回の第７回では、国内外から約40万人もの方々が各パビリオン（会場）を訪れてくださいました。同時に催す「東京都の児童・生徒による“江戸”書道展」は本年で第４回を迎え、東京オリンピック・パラリンピックを見据えた文化プログラムとして、此の度から題材に「世界の国々を漢字で書く」を加え公募しました。今後も日本の伝統、文化を次世代に継承し、その魅力を世界に向けて伝えられるよう努めていく所存です。

本保　素晴らしい事業を展開していらっしゃいますね。若い世代や訪日外国人には直線的に日本の歴史や伝統、文化を押し付けるのではなく、存在の意義やその根底にある価値に関心を見出す手がかりを示すのが大切です。

そのような観点からも、EDO ART EXPO で歴史を積み重ね、集積して現在に至る老舗や神社仏閣がパビリオンとなり参画し、浮世絵など日本の伝統や文化を伝える工夫をしていらっしゃるのは大変に意義深くシンボリックであると思います。東京オリンピック・パラリンピックとその後に向けた大切な取組期間ですから、官民一体で協力し気運を盛り上げていきたいですね。

庭園にしつらえた茶室「耕雲亭」は、三菱の岩崎彌之助、小彌太の父子二代により設立された、かつて静嘉堂文庫（東京都世田谷区）にあった茶室「釣月庵」を模しています。

初代観光庁長官　本保（ほんぽ） 芳明（よしあき）

1949年北海道生まれ。
1974年東京工業大学大学院修了、運輸省入省。（独）国際観光振興機構（JNTO）ジュネーブ事務所、経済協力開発機構日本政府代表部勤務、運輸省観光部企画課長、国土交通省大臣官房審議官、日本郵政公社専務執行役員等を経て、2007年７月国土交通省大臣官房総合観光政策審議官、2008年10月国土交通省観光庁設立とともに初代長官に就任。2010年４月首都大学東京教授、2013年８月～世界観光倫理委員会委員、2014年１月～観光庁参与、2014年11月～東京工業大学特任教授、2015年４月～首都大学東京特任教授。

EDO ART EXPO 総合プロデューサー　山田（やまだ） 晃子（あきこ）

女子美術大学芸術学部芸術学科卒業。
EDO ART EXPO 総合プロデューサー、日本橋美人推進協議会プロデューサー、NPO法人 東京中央ネット副理事長、一般社団法人 日本江戸クラフト協会副会長、株式会社ヤマダクリエイティブ代表取締役、学芸員資格保持者　ほか。
著書に「日本橋美人」など。